



# 東京日々新聞

五拾號



安正寺住僧

月岡帶刀

明治五年四月初旬

北越の頑民等

縣廳不逞々々

不平の趣旨と強訴せん

一揆隊長會藩

渡邊悌藏

密に會合する機に乗じ旧會津

福岡藩の浪士等之不應ト

一揆を煽動して所々暴起す

惣勢凡六千餘人。上は天照皇の

三大宇。下は徳川家恢復。朝敵奸賊

征伐と記し、旗章押やく兵器を

携へ新潟柏崎の兩廳を襲んとす

參事公以下の縣官奔走して説諭よ及べど

理非と弁せぬ賊兵の勢ひますます盛んなりて數名の

官吏は手傷を負せ鎮撫の道も絶果けまじ

兵力を以て征すも素より鳥合の土寇

あまの忽地は遁走し。巨魁の浪士も捕虜とあり

日あらば鎮靜あり。天威の赫々たるやあり

轉々堂主人記

一葉齋  
芳義堂



命具足屋

后田彫長

